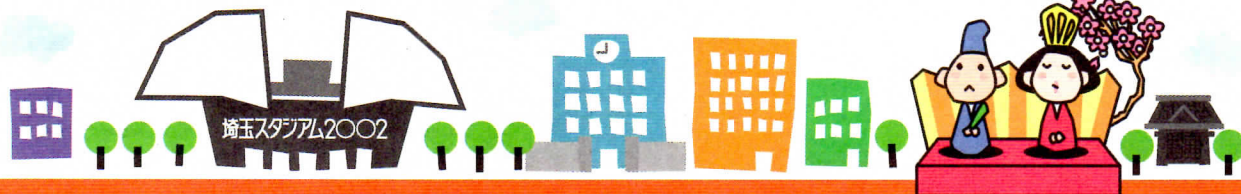


2021.8 vol.18

みんなの力で浦和美園駅から岩槻駅へ地下鉄をつなごう!

SUBWAY NEWS LETTER 7

回覧



さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会 第18号

清水さいたま市長が「23年度中に延伸申請を要請」と答弁

清水勇人さいたま市長が、6月14日(月)のさいたま市議会6月定例会において地下鉄7号線の延伸について答弁を行いました。

答弁では、「2023年度中に鉄道事業者に対する要請を行い、4年の任期内のできるだけ早い時期に、鉄道事業者が国への申請手続きに入れるように努める」と発言した他、「中間駅のまちづくり計画」の策定についても「本年度に関係機関協議のための計画案を作成し、23年度には計画案を基に国との協議を進める」との発言をしました。

4月30日(金)には大野埼玉県知事と「地下鉄7号線延伸に向けた方針及び取組」について合意し、14日(月)の答弁で地下鉄7号線延伸について具体的なスケジュールについて言及されたことから、清水市長のリーダーシップの下、地下鉄7号線延伸が実現に向けて大きく進展することが期待されます。

地下鉄7号線延伸実現に向けた関係者意見交換会を開催

と き: 令和3年4月23日(金)午後6時

場 所: ロイヤルパインズホテル浦和 4階ロイヤルクラウン

出席者: 埼玉県知事 大野 元裕

(敬称略) さいたま市長 清水 勇人

衆議院議員 村井 英樹

参議院議員 古川 俊治(オンライン参加)

埼玉県議会議員 小島 信昭(地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟 会長)

さいたま市議会議員 青羽 健仁(地下鉄7号線延伸事業特別委員会 委員長)

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会会長 佐伯 鋼兵

さいたま商工会議所会頭 池田 一義

株式会社埼玉新聞事業社取締役 小川 秀樹(意見交換会ファシリテーター)



意見交換会に臨む大野知事、清水市長、佐伯会長、池田会頭



当日の会場の様子



当日は、多くの報道関係者にお越しいただきました



オンラインでの意見交換も行われました

地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会及びさいたま商工会議所は、地下鉄7号線延伸における国への営業・整備構想の認定をはじめとする申請手続きの早期着手に向け、関係者である埼玉県知事、さいたま市長、地元選出の国、県、市の議員が一堂に会した意見交換会を開催いたしました。

当日は、株式会社埼玉新聞事業社取締役の小川秀樹氏をファシリテーターに迎えて会を進行。意見交換会では、参加者より「平成29年度に鉄道・まちづくりの専門家からなる『地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会』での試算により、地下鉄7号線延伸事業化の最大の課題であった事業採算性の壁を超える試算が出されたことにより状況は大きく変わった。事業着手の環境が整い、機は熟している。認可申請へのスケジュールを明確化していただきたい」、「地下鉄7号線の延伸は、岩槻区だけでなくさいたま市全体、埼玉県全体にとっても意義のある事業である。他の鉄道網との新たな結節点ができることで人の流れを作り、新しいまちづくり・都市づくりができれば、鉄道事業者のメリットも経済効果も大きくなる」などの意見が出されました。

また、意見に対し大野知事からは「地下鉄7号線の延伸について、さいたま市長との意思疎通は今後も密に行っていく。中間駅周辺のまちづくりにも具体的なアイデアを提示したいと考えており、そのために県の『公共交通の利便性向上検討会議』で延伸を実現するための議論をした。今後もさいたま市と連携して説得力のある議論を進めたい」との回答があり、清水市長からは「地下鉄7号線の延伸については、これまでの検討の段階から実施のための取組となっている。事業採算性の条件がクリアされていることも認識しているが、同時に示された課題もしっかり解決して手続きに進めればと考えている。先が見えつつあるところで、皆様の思いをしっかりと受け止め、大野知事とも積極的に意見交換を図りながらスケジュールを明確にし、地下鉄7号線延伸を進めていきたい」との回答がありました。

埼玉県知事とさいたま市長が「地下鉄7号線延伸に向けた方針及び取組」に合意

と き: 令和3年4月30日(金)午前10時30分

場 所: 埼玉県庁本庁舎2階 庁議室

大野埼玉県知事と清水さいたま市長が意見交換を行い、地下鉄7号線延伸事業について「方針」を共有し、連携・協力して「取組」を推進することで、実現を目指すことに合意しました。また、意見交換では地下鉄7号線延伸について部長級会議を設置し、延伸実現のため課題の解決に向けた議論を進めることについても話し合われました。

●地下鉄7号線延伸に向けた「方針」

1. 交通政策審議会答申198号(以下、「答申」という。)で示された意義の実現

答申で意義として掲げられている「県東部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待」のできるだけ早期の実現を目指す

2. 地元の期待を踏まえて推進

本事業に対する地元の期待を十分に踏まえ、地元の協力も得ながら諸課題を克服し、事業を推進する。

3. 県市協働による推進

県市が密接に連携を図り、必要な役割を相互に果たしながら協働して取組を進める。

●地下鉄7号線延伸に向けた「取組」

1. 答申で示された課題への対応

答申で課題として示された「事業性の確保」に必要な需要の創出に繋がる沿線開発(中間駅周辺地区のまちづくり等)や交流人口の増加に向けた取組を着実に進める。

2. 速達性向上事業の実施の要請に向けた取組

都市鉄道等利便性増進法に基づく、鉄道事業者への速達性向上事業の実施の要請に向けて、関係者と十分協議の上、課題を克服し、速達性向上事業に関する計画の素案を作成する。

3. 国等との調整

本事業の実施に向け、国等関係者との調整が必要となる事項について、適時に円滑な協議を確実に進める。



鉄道今昔物語 第15話

昨今のトイレ事情

いつも埼玉高速鉄道を利用している方はご存知だと思うが、SR線内の各駅トイレは派手である。これは良い意味の派手で、駅のトイレという暗くて汚いイメージが付きまとう。幸いその辺りのトイレ事情は、近年各社でも改善されつつある。例えば東京メトロなどは、一部の駅でホテル並みの雰囲気を持った綺麗なトイレが散見できる。そこで、東京メトロと直通運転しているSR線が何もしないわけがない。

先述の通り、その派手さはセンスの良い派手さであり、聞くところによればフィンランドのデザイン会社の作品だとか。これを採用した埼玉高速鉄道のセンスは称賛ものである。

勿論、切っ掛けは2020世界大会の対応だとは思いますが、それでも単にリニューアルするだけではなく、付加価値を持たせた施策はとても素敵だ。私も数回だが、これらのトイレを使わせてもらっている。全駅制覇を目論んでいるが、目的地の都合で、まだ3駅ほど残しているのを楽しみだ。

トイレ話の繋がりで恐縮だが、今年の5月から京急線にトイレ付の通勤車両がデビューした。4両編成で2両目にバリアフリーの洋式トイレ、3両目に男性用トイレが装備されている。私はかねてから、ある程度長い時間を走る通勤車両にはトイレを設置してほしい、と発言してきた。

この京急を例に挙げれば、品川〜久里浜間、JR横須賀線の歴代車両にはトイレの設置があるものの、京急の車両には存在していなかった。その他の区間を走るJRと他鉄道社局の路線でも、同様な例が多々存在している。

そういった現状から、今回の京急通勤車両へのトイレ設置は非常に大きな意義があり、他社にも普及することを願っている。

現在、各鉄道社局では都心を地下鉄で置き、その先で他社に乗り入れる大規模なネットワークが構築されている。SR線でいえば、東京メトロ南北線が都心を置き、東急線の日吉(横浜市)まで約90分弱のネットワークである。

たった90分、されど90分。私のような冷え性の女性や、高齢者化時代の現在では、車内のトイレは重要な旅客サービスの一つであると考えられる。

SR線の次世代の車両にも、是非トイレを設けることを検討して頂きたいと思う。その際は、駅と同じくセンスの良い派手さを持たせたトイレにすれば、埼玉高速鉄道のアイデンティティの一つとして、広く社会一般に認知され、延伸への足掛かりの一つになるのではないかなと思う。

著者紹介

鉄道ジャーナリスト
わたなべ しえ
渡部 史絵氏

鉄道にまつわる書籍執筆や監修を手がけ、その魅力を幅広く発信している。単行本や文庫本、月刊誌、新聞等の連載や寄稿など、執筆活動を主体に、国土交通省をはじめ、行政や大学、鉄道事業者にて、講演活動等も多く行っている。

著書に『地下鉄の駅はものすごい』(平凡社)、『東京メトロ知られざる超絶!世界』(河出書房新社)、『関東私鉄 デラックス列車ストーリー』『電車の進歩細見』『首都圏 地下鉄の秘密を探る』『鉄道なぜにブック』(交通新聞社)、『譲渡された鉄道車両』『路面電車の謎と不思議』(東京堂出版)、『写真で振り返るJRダイヤ改正 2020』(飛鳥出版)ほか、多数ある。

公式ブログ
<http://ameblo.jp/shie-rail>
公式ツイッター
<https://twitter.com/shierail>

国・県・市 議員との意見交換会を開催

と き: 令和3年3月29日(月)午前11時 場 所: さいたま商工会議所会館 2階ホール
出席者: 参議院議員 古川 俊治 (敬称略) 衆議院議員 村井 英樹(代理:相馬 大作) 埼玉県議会議員 小島 信昭 (地下鉄7号線延伸・沿線地域整備促進議員連盟 会長)
さいたま市議会議員 青羽 健仁(地下鉄7号線延伸事業特別委員会 委員長)
さいたま市議会議員 吉田 一志(地下鉄7号線延伸事業特別委員会 副委員長)
埼玉高速鉄道株式会社 代表取締役社長 荻野 洋
さいたま商工会議所会頭 池田 一義
さいたま商工会議所副会頭 北 清治、安藤 嘉明、井原 實、高橋 三男
さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会会長 佐伯 鋼兵
さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会副会長 筑波 伸夫

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会並びにさいたま商工会議所は、地下鉄7号線の延伸について、早期に鉄道事業者に対し認可申請着手を要請していただけるよう、国・県・市の各議員の方々等との意見交換会を開催いたしました。

意見交換会では、参加者より「地下鉄7号線の延伸については、市長の決断にかかっているところである。大野埼玉県知事にも同席いただいたうえでパブリックな場で地下鉄7号線延伸の認可申請のスケジュールについて市長にお話ししていただけるような機会を設けたい。」「延伸事業の費用が発生するのは工事の着工後であり、事業の予算の議論を認可申請までに尽くさなければならないということはない。まずは延伸事業実施について国への認可申請をするべきである」などの意見が出されました。

また、埼玉県知事及びさいたま市長を含めた関係者による意見交換会の開催については、メディアにも公開するオフィシャルな会として開催の企画を進めることで参加者の意見が一致しました。

埼玉高速鉄道株式会社へ要望書を提出

と き: 令和3年3月29日(月)午後0時30分
場 所: さいたま商工会議所会館 2階ホール
提出先: 埼玉高速鉄道株式会社

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会並びにさいたま商工会議所は、地下鉄7号線延伸事業化の早期認可申請について、埼玉高速鉄道株式会社へ要望書を提出致しました。

要望書では、今日の新型コロナウイルス感染拡大に伴う新たな生活様式の中で、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえた、鉄道と地域のまちづくりにおける新たな戦略と実行が求められている中、埼玉高速鉄道株式会社が埼玉県及びさいたま市のリーダーシップのもと、埼玉県議会・さいたま市議会、市民・企業・関係団体と連携・一体となり、新たな社会生活における困難を乗り越え、延伸における国への認可申請実現への活動を推進することなどを要望いたしました。

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会

オールさいたま

2. 埼玉高速鉄道(SR)の利用促進に向けた事業を行います。

3. 講演会やイベントなどで、延伸実現に向けたPR活動を行います。

― 期成会に加入するには ―

趣旨に賛同される方であれば個人・企業問わず、どなたでもご加入頂けます。会費は、個人の方は年千円から、企業の方は年一万円からとなります。また、ご加入をいただいた個人の方のご家族、企業等の従業者の方は、賛助会員としてご加入(会費無料)できます。

― 期成会が行うこと ―

1. 調査・検討事業を行ない、さいたま市へ事業提案をいたします。

詳細につきましては、期成会事務局のさいたま商工会議所にご連絡ください。

さいたま市地下鉄7号線延伸認可申請事業化実現期成会 役員名簿				
(任期: 令和2年4月1日~令和4年3月31日)				
役職	氏名	名称・役職	区分	
顧問	秋谷 文男	信越化学工業株式会社代表取締役副会長	経済	
	宮本 雅弘	曙ブレーキ工業株式会社理事	経済	
	安野 清	株式会社ベルーナ代表取締役社長	経済	
相談役	江田 元之	さいたま商工会議所相談役	商工会議所	
	佐伯 鋼兵	さいたま商工会議所名誉会頭	商工会議所	
	池田 一義	さいたま商工会議所会頭	商工会議所	
副会長	筑波 伸夫	さいたま観光国際協会会長	観光国際協会	
	北 清治	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所	
	安藤 嘉明	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所	
理事	井原 實	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所	
	高橋 三男	さいたま商工会議所副会頭	商工会議所	
	吉田 正信	見沼区自治会連合会会長	市民	
	大熊 博	緑区自治会連合会会長	市民	
	三宅 宣夫	岩槻区自治会連合会会長	市民	
	大郷 恒吉	さいたま市商店会連合会会長	経済	
	田中 泰治	岩槻商店会連合会会長	経済	
	星野 健太	埼玉中央青年会議所理事長	経済	
	小澤 日出行	岩槻工業団地事業協同組合理事長	経済	
	久田 有	浦和大学学長	沿線大学	
	沢崎 達夫	目白大学学長	沿線大学	
	久住 眞理	人間総合科学大学学長	沿線大学	
	立花 洋一	浦和レッドダイヤモンズ代表取締役社長	スポーツ	
	佐野 秀彦	大宮アルディージャ代表取締役社長	スポーツ	
	田中 久也	見沼区長	沿線区長	
監事	阿部 幸子	緑区長	沿線区長	
	沼尻 裕一	岩槻区長	沿線区長	
	山田 祐司	さいたま商工会議所政策委員会委員長	経済	
	川村 郁夫	さいたま商工会議所街づくり・観光委員会委員長	経済	
	新井 久夫	岩槻人形協同組合理事長	経済	
	齋藤 進	さいたま市野球連盟連合会会長	スポーツ	
	浜野 洋子	さいたま商工会議所女性会会長	商工会議所	
	加賀崎 彰人	さいたま商工会議所青年部会長	商工会議所	
	長野 晋隆	さいたま商工会議所岩槻支部支部長	商工会議所	
	松永 大祐	さいたま市建設協会副会長	経済	
監事	持田 光司	さいたま商工会議所専務理事	商工会議所	
	阿久津 基	さいたま市観光国際協会常務理事	観光国際協会	

地下鉄7号線延伸地域『散策マップ』

地下7期成会では、浦和美園駅〜岩槻駅間の地下鉄7号線延伸実現にむけての啓発活動の一環として、延伸線地域の自然や歴史等の魅力、期成会オリジナル情報を掲載した散策マップを作成しています。

東京五輪2020競技大会をはじめ各種国際・世界大会の開催を見据え、外国人観光客への散策マップを作成しています。

また、本オリジナルマップは、延伸地域の魅力PRや円滑なコミュニケーションを図ることを目的に、ピクトグラム(絵文字)入りで、日本語と英語を併記し、かつて浦和美園駅〜岩槻駅間を運行していた旧武州鉄道の痕跡を辿りながら、見沼田んぼと元荒川の自然あふれる水辺と歴史を満喫頂けるコースをご紹介します。

(ご希望の方は、期成会事務局にご連絡下さい)

詳細・お問合せは下記まで

期成会事務局

さいたま商工会議所 まちづくり支援課

〒330-9626
さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL:048-641-0084 FAX:048-643-2720